

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 加茂高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和3年6月25日 (金) 14時00分～17時00分
- 3 開催場所 加茂高等学校 会議室
- 4 参加者

会 長	尾関 里佳	全日制PTA会長
副会長	松井 彰良	協議会委員 同窓会役員 山手商店会役員
委 員	角田 雅彦	元学校評議員(R1.R2) (欠席)
	梶田 女理子	元学校評議員(R2) 県文化振興事業団
	佐藤 久子	定時制教育振興会長
	松尾 和樹	協議会委員 可児市議会議員 NPO 法人縁塾顧問
	武市 由紀子	発達障がい専任教員 元特別支援学校長
学 校 側	井藤 勝夫	校長
	鵜飼 陽一郎	副校長
	今井 勤	事務部長
	笠原 常豊	教頭
	山田 哲志	教頭
	吉川 敏幸	教務主任 (全日制)
	尾関 清光	教務主任 (定時制)
	酒井 宏昌	生徒指導主事 (全日制)
	武藤 秀彦	生徒指導主事 (定時制)
	古田 寿朗	進路指導主事 (全日制)
	渡辺 純也	進路指導主事 (定時制)

5 会議の概要 (協議事項)

校長、副校長、教頭、各分掌長(教務・生徒指導・進路指導)から会議資料等を説明し、学校運営協議会委員から、教育方針、教育活動、学校課題、スクール・ポリシー等について検討した。

【資料】 全日制用 : 学校案内 教育指導の重点及び学校経営計画(マニフェスト)
分掌・学年会の目標 進路指導部 (2021年度入試結果等)
部活動成績

定時制用 : 学校案内 教育指導の重点及び学校経営計画(マニフェスト)
教務部 生徒指導部 進路指導部 特別活動部

(1) スクール・ポリシーについて

意見1 : 今年度中にスクール・ポリシーを作成することになっているが、来年度以降、内容を一部変更することはできるのか。

⇒ 来年度以降も検討を重ねていき、変更した方がよいと思われる箇所は、様々な意見をまとめながら、より良いものにしていく。

意見2 : 「文武両道」という校風が大切にされてきたが、進学校であることを強く意識して、両道を求めるのではなく、あえて進学重視を打ち出していくことも大切ではないか。

意見3 : 部活動に積極的に参加することで、高校生活が充実し、卒業後に大きく伸びる生徒が多いという現状がある。ぜひ、「文武両道」をスクール・ポリシーに入れてもらいたい。

⇒ 意見2や意見3のように、「文武両道」という校風について様々な意見があると思われる。今後、生徒、保護者、教職員の意識を調査して、スクール・ポリシーに生かしていく。

意見4 : 進路イコール大学進学でなく、社会に出た後に活躍できる人材の育成、礼儀正しさや、自分の人生を切り拓いていくことを大切にしたい学校であってほしい。

(2) ICT活用について

意見1 : 教科書、補助教材の内容をデジタル化してタブレットで見られるようにすれば、生徒の鞆の中身が減って軽くなる。大きな荷物があると登下校時が危険なので、交通安全の面からは是非お願いしたい。

⇒ 重たい教材を自転車に積むことなどにより、自転車の運転が安定しないことがある。学校としても、できるだけ鞆を軽くするために、タブレットでデジタル教材を見られるようにしていく。

(3) 学校生活について

意見1 : 授業参観では、生徒が主体的にとっても真面目に授業に臨んでいる様子が伺われた。また、教員も生き生きと授業を行っている様子がとても良かった。

意見2 : 廊下ですれ違った生徒は皆丁寧な挨拶ができ、とても礼儀正しいと感じた。

意見3 : 本校には、いろいろな分野で活躍している卒業生が大勢いる。卒業生とのつながりを積極的に構築してもらいたい。

意見4 : 新型コロナウイルス対策により、昨年度は特に様々な学校行事が削減され勉強中心となり、人と人との繋がりが薄い高校生活になっている部分がある。また、その分、生徒がストレスを抱えていると思われる。より一層、不登校やいじめに対しても意識して取り組んでももらいたい。

意見5 : 自宅学習等の課題は最低ラインを示し、一人一人が選べる範囲が与えられれば、生徒は安心するのではないか。

(4) 新型コロナウイルス対策について

意見1：授業参観のとき、教室に生徒が40人ほど入っていた。密になっていないか心配だ。

意見2：教室の換気がしっかりなされているか心配だ。

意見3：新型コロナウイルス対策が学校内で徹底されていることが子どもの様子から感じられる。

⇒ 毎朝の昇降口での多くの教員による健康チェックや、日々の呼びかけにより、生徒一人一人の新型コロナウイルス対策の意識はかなり高いと思われる。また、昼食や激しい運動以外はしっかりとマスクをして活動しており、教室内に40人入っても、絶えず換気をして、マスクを常時着用しているため、この感染防止対策をしっかり維持していく。

(5) 定時制の今年度の取組について

意見1：新型コロナウイルスにより、ストレスを感じたり、活動が制限されたりすることが多々ある中、生徒たちは元気に頑張って授業や部活動に取り組んでいる。自分の子供も以前は休みがちであったが、現在では学校が楽しいと言ってくれることが本当にうれしい。

意見2：外国籍生徒が7割を占める定時制で、国籍がバランスよく混じるようにグループを作った「日本語プレゼンテーション大会」は大変貴重な取組であり、定時制の取組の核になっていると言ってよい。今年度のテーマを考えているということだが、例えば、「自分たちにつながる国の自慢料理を説明しよう」などとしてはどうか。きっと、皆で楽しく取り組めると思う。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会において、本校の教育指導の重点及び学校経営計画について、全委員からの承認が得られた。本校のあるべき姿に対して様々な意見があり、学校運営協議会委員の方からの期待の大きさを改めて感じた。

今回得られた意見を踏まえ、さらにアンケートなどを幅広く取りながら、第2回の学校運営協議会の準備をしていく。